

よりそう

Side by Side



第13号

編集責任：高早

編集担当者 高早

それは人の命

東北大学(文京区)から生徒21名 先生3名で
8/21~8/25まで活動に来ている 3回生の
御影恵美さんに 8/23の活動について
伺いました。↓

この日は10人4人で 遠野市の陶芸家
キチさんの自宅の横にある釜の復旧
にあたる。釜が崩れたので 震災後の
収入はゼロ。古墳のような形のレンガ
作りの釜が崩れていた。

女子4人はレンガに付いた物を持って手洗い
キチさんはレンガにする(再利用のため)

男子4人は釜の中に入れて別の作業。

釜復旧にはまだまだ1年位かかるそう。

当初は個人所有だからボランティアに頼む
のを遠慮していたが 自衛隊の人に頼む
方がよい」と言われる。1ヶ月程1人で作業に
当たったが 手が腫れて、足が擦れて
病院へ…。無理だから頼め」と言われる。

今は体は回復しているが、動くのもつらい
程度体がやられてしまったらしい。

「個人所有を返してもらうのは気が引ける
が 私達はここで食べてるんだ」とキチさん
は震災直後の話をしてくたそう。

周りのスーパーは品がなくて、冷凍食品
でしのいだ。しばらくして品は増えてきたが
自衛隊、警察さんが優先で一般の車
は通れず歩いてスーパーへ行きたらしい。

※月曜・木曜は休日に なります。

まごころ種 募集

くわしくはHPへ

「津波には薄っぺらいが地震でこんな
風に子人も出る」と知った恵美さん。
初日は陸前高田でガレキ作業に
あたり、主に石をやると思っていたそう。
遠野の個人宅とあって、はじめは
「津波きてないじゃん。やる事あるの？」
と思ったけど、釜は崩れて子し、それで
食べている人もいる。それは人の命じゃ
ないでか！ 善悪でさせてもらおうと思った。
この日の感想を語ってくれた。
奥様が釜に 全員分の人のおとんと
コロケをこちそうしてくれて、帰り際には
生徒21人分のペットボトルを持たせてくれた。
この日、一番感じた事は
「こんな生き方があると知り、私達も
学ばせて頂いた」とは。ちり大さ目
で語ってくれた恵美さん。本日24日は
大槌で私の班でガレキ、草刈りとして
頂いた。

P.S. 同じ班にいた 上司と一緒に
参加の竹内さんから 本日バスで帰るまで
「車内で『よりそう』見物の楽しみにしてまわ
女子大生の取材の」のクエストでの
取材でした。恵美さんありがとう。
竹内さん 気をつけて帰って下さい。

「中三昇さん お誕生日おめでとう
ございます。」長野県より10時間かけて
のご参加です。

「ハッピーバースデーのうた」いつも歌いましょう。

※/()ボランティアミーティングはPM15:30~@体育館

8/23(火)の宿泊:133人、活動:220人

8/25(木) 天気 曇り

気温 高30℃ 低22℃

降水確率 20%